

# 子供の床屋

小川未明

青空文庫



町はずれに、大きなえのきの木がありました。その下に、小さな床屋がありました。円顔の目のくるりとした男が、白い上着を被て、ただ一人控えていましたが、めつたに客の入っているのを見ませんでした。なんとなく、みすぼらしく、それに狭苦しい感じがしたからでしょう。

「勇ちゃんも、年ちゃんも、学校へゆくときはその前を通りました。」

「怖い顔をした、おじさんだね。」と、小さい声で勇ちゃんがいました。

「僕のゆく床屋はきれいだよ、鏡が五つもあるよ、ここは、一つしかないね。」と、年ちゃんが、いいました。

「僕、こんなところは、いくら安くてもやだな。」

「もつと、きれいでなければね。」

「そうさ。」

二人は、学校から帰ると、原っぱでボールを投げて遊んでいました。

「いいかい、カーブを出すよ。」

「オーライ。」

そのうちに、ボールはころがって往來のそばの深いみぞの中に落ちました。

「困ったね。」と、二人が下を見ていつているところへ、

「どれ、拾えないかな。」といって、顔を出したのは、思いがけない白い上着を被た床屋の主人でした。

「待っていない、いま取ってやるから。」と、主人は、自分の家へ走っていつて長いさおを持ってきました。そして、ボールをこちらへ寄せて取ってくれました。

「ありがとう。」と、二人は心からお礼をいいました。

主人の姿が見えなくなると

「いいおじさんだね。」と、二人は、顔を見合つて、につこりしました。

## 二

その後、四、五日たつてからです、勇ちゃんは学校へゆくときに、年ちゃんに向かつ

て、

「僕、昨日、ここの床屋で頭を刈ってもらった。」と、床屋の方をふりむきながら、いいました。

「汚くない？」

「狭いけれど、清潔だよ。あのおじさんは、怖い顔をしているけれど、やさしいよ。若いときは、軍人で、満洲へいったんだって、いろいろ戦争の話をしてきかせたよ。」

「そうかい、僕も今度から、ゆこうかしらん。」と、年ちゃんは、いいました。

二人は、この床屋へゆくようになってから、おじさんと仲よくなりました。晩になると、えのきの木の下に、縁台を出して、三人は、腰をかけて、涼みながら、おじさんから、田舎で釣りにいった話や、また、夜川原に火をたいて、魚を寄せて、網ですくった話などをききました。

「火をたくと、魚が寄ってくる？」と、勇ちゃんが、ききました。

「そうです、その川は、小さな川でしたが、なまずの大きいのがいましたよ。」と、おじさんは、星空をながめて語りました。

「田舎へ、いつてみたいな。」と、年ちゃんが、いいました。

どこかで、ボンと花火の上がる音がしました。きつと、徳ちゃんたちが、原っぱで上げていたのでしよう。けれど、そこへゆくよりか、おじさんの話のほうがおもしろいのでした。

「私の小さい時分には、この、えのきの木の実をたまにして、竹で鉄砲を造つたものです。」と、おじさんは、夜風に、さらさらと葉のそよいで鳴る、えのきの木を見上げました。

「あの、青い実が、たまになるの？」

「いい音がしますよ。」

「こんど、僕にそんなてつぼうを造つておくれよ。」と、年ちゃんが頼みました。

「おじさん、僕にもね。」と、勇ちゃんが、いいました。

## 三

二人は、おじさんに、竹のてつぼうを造つてもらうことを約束しました。

「田舎は、やぶへゆけば、いくらでも竹があるが、ここでは、なかなか竹がありませんね」と、おじさんは、考えていました。

きれいな、大きな床屋へいつて、この小さな床屋へこないほかの子供たちは、なんとなく、この縁台にきて、腰をかけて、おじさんから、お話をきくのを遠慮していました。が、いつのまにか、みんなおじさんと親しくなつて、この床屋へくるようになりました。

おじさんが、子供が好きだったからです。そして、しまいには、この床屋は、子供の床屋という、あだながつくようになりました。近所の子供は、床屋の前をいい遊び場所にしました。おじさんは、いつも元気で、小さい店先で、子供たちの頭を、ジヨキジヨキ刈っています。



# 青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 10」講談社

1977（昭和52）年8月10日第1刷

1983（昭和58）年1月19日第6刷

※表題は底本では、「子供《こども》の床屋《とこや》」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2015年5月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 子供の床屋

小川未明

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>